

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制	1	子どもが活動するスペースは、適切である	○			工夫して遊んでもらえるようにしている。床の破損など危険箇所があれば応急処置はするが修理してもらのに時間がかかる
	2	職員の配置は適切である	○			送迎のため同乗する職員が抜けるため利用者が多い時は職員の人数が少ないと感じる事がある。もう一人職員がいれば安心。
	3	サービスを提供する時間帯は適切である	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)がスタッフ間で共有できている	○			
	5	職員の資質向上のため、研修の機会を確保している	○			研修という形式ではないが子ども対応やカリキュラムのやり方など話をする機会はある。着任して期間が短いので分からないが日々指導してもらっている。
	6	アセスメントを適切に行い、子ども・保護者のニーズを分析し、支援している	○			
活動プログラム	7	個々のカリキュラム立案をチームで実施できている	○			
	8	カリキュラムが固定化しないよう工夫している	○			
	9	子どもの状況に応じたカリキュラムを提供している	○			
	10	子どもの状況に応じて、個別・集団のカリキュラムを適宜組み合わせ支援している	○			
	11	カリキュラムについての研修等を定期的実施している		○		チームMTGなどでカリキュラムの内容を話し合うなど行っていた。個人では口頭で伝える事はしている。
	12	カリキュラム開始前にスタッフ間で打ち合わせし、支援内容の共有及び役割分担が行われている	○			

適切な支援	13	スタッフ間で支援の振り返りを行い、ニーズ・課題などの共有ができています	○			
	14	日々の支援に関し、日報等で正しく記録を取っている	○			
	15	定期的にモニタリングを行い、モニタリングの重要性を理解している	○			
	16	ケース会議等の機会を設けている	○			
	17	日々の支援に対し、スーパーバイズするスタッフが整備されている	○			
関係機関・保護者との連携	18	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者・関係機関と連携した支援を行っている		○		定期的ではないが電話で連携をとったりしている
	19	各関係機関が主催するサービス担当者会議等に参画している		○		相談事業所がついていない利用者が多いので、併用している事業所に電話をすることはあるが会議はない
	20	保育所・認定こども園・幼稚園等と情報の共有を積極的に行っている	○			園お迎えや電話などで対応している。人員・時間等の都合で訪問があまりできない。
	21	医療的なケアが必要な子どもを受け入れる場合、協力医療機関等と連携・連絡体制を整えている			○	受け入れていない
	22	他事業所との連絡体制を整えている		○		保護者を通して話を聞いている
	23	日頃から子どもの状況を保護者に伝え、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○			
	24	保護者の対応力向上を図る観点から保護者に対して家庭支援プログラム等の支援を行っている	○			家庭支援が必要な場合行っている
	25	保護者会等を開催し、保護者同士の連携に対する支援をしている		○		保護者同士の連携を望まない方もいる
	26	保護者からの子育て等の悩みについて適切に応じ、必要な助言・支援をしている	○			
	27	定期的に会報等を発行し、活動概要等を保護者に対し、発信している	○			
	28	子どもや保護者との意思疎通・情報伝達のための配慮をしている	○			

説明	29	契約時、重要事項説明を丁寧に行なっている	○			
	30	個人情報の取り扱いに十分注意されている	○			
非常時等の対応	31	緊急時の対応等の連絡体制が整備されている	○			
	32	緊急時の対応等のマニュアルがスタッフ間で周知されている	○			
	33	災害発生時の避難場所等を把握している	○			
	34	ヒヤリハットを作成し、事業所間で共有している	○			
	35	虐待を防止するため、職員の研修等で情報の共有をしている	○			